



うれしかったこと

「みちくさ」の題字は、早く提出してくれた子から順番に使っています。ですが、ちょうど発行する季節とあつた物を使うことができている。募集したのは6月でした。梅雨のイメージで描いてくれた子は、梅雨の時期に使うことができましたし、今回もちょうどどんぐりなど、秋を感じるデザインです。たまたまかもしれないませんが、いろいろなデザインがあつた方がいとおもってくださったのかなと思うと、うれしくなります。

「速さ」の表現

映画「鬼滅の刃 無限列車編」を見ました。漫画とは違い、音楽と時間をうまく使うことで、登場人物の戦闘シーンがカッコよく表現されていました。

「速さ」の表現です。すごいと思ったのが、主人公の戦友善逸が技を決めるシーンです。善逸を描かずに、車窓から漏れる光を移動させることで、速さを表現しているシーンでした。BGMもそこだけ静かでした。他のキャラクターも「速い」ので、表現の違いを確かめるために、また見に行きたいと思います。

※本作品は、刺激の強い表現があります。ご家庭で作品について助言をし、お子さんの健やかな心の成長につなげてください。



手前から奥へ移動する光がバリバリと車窓の光が移動する

四年生 革で小物作りをしました。革製品を作っている会社で、使い切れなかった端切れや、商品として使えない革を使ってみました。

革という使いづらいイメージがありますが、はさみで切れますし、木工等ボンドでくっつけることができます。色も端切れなので、数に限りがありますが、好きな色を選んで思い思いの物をつくることができました。



革製品をつくることは大変な仕事です。自分たちの代わりに動物の皮をはいで加工してくれる人がいるという話も聞きました。真剣に聞いていました。

一年生 十二月

になったら、一年生の作品もゼンインレブンに展示します。テーマは、「サンタクロースのふくろのなかには？」です。たくさんプレゼントの入る袋には、何が入っているのでしょうか？ゲームやおもちゃを中心にアイデアがたくさん出ました。アルコールスプレーを描いている子もいて、気がついてきているなど、感じました。



「ふわふわさん」では、お花紙で玉を作り、画用紙に貼ることで絵を描きました。色だけでなく、しきつめて貼るか、間を空けて貼るかなど、貼り方も工夫しました。



お花紙で玉を作り、画用紙に貼ることで絵を描きました。色だけでなく、しきつめて貼るか、間を空けて貼るかなど、貼り方も工夫しました。

五年生 「KOOV」の鑑賞

の「ハーモニー」の鑑賞会をしました。自分たちでプログラムを組んだ音楽に合わせて、光らせ方を工夫したように他の子どもどう工夫したのか、興味をもって見ることができました。2クラス合わせると二十九作品あるので、疲れてしまうかなと心配でしたが、全て鑑賞できました。振り返りも素晴らしく、光の表現の言語化は難しいと思つたのですが、よい感想が沢山ありました。「ブロックの中から光が出るようにしていった。」「一斉に光らせたり交互に光らせたりしていた。」など、よいところによく気づき、文にできました。



三年生

「クミクミックス」では、段ボールカッターの使い方や、段ボールを学び、段ボールをたくさん切りました。切込みを入れ、組み立てて何ができるか考えながら活動しました。



塔のように高く組んだり、動物に見立てたりする子が多かったです。のこぎりを使ったことありますが、切ることは慣れていますが、段ボールが木より柔らかいので、そこで苦戦する姿もありました。いろいろな道具の使い方に慣れて、これらの作品作りに活かしてほしいです。



の使い方に慣れて、これらの作品作りに活かしてほしいです。

六年生 「墨でかく」では、

「わんぱう」という白抜きやにじみに使う液と、塩を使ってできる表現の面白さを味わいました。何か描くものを先に決めて描くのではなく、墨だからこその「にじみ」や、「かすれ」などに気づいてほしいと思いつながら授業をしました。



「わんぱう」を使うと、水での「にじみ」より、枝分かれするような不思議な「にじみ」があります。塩は、墨で描いた上からまき、時間を置くと、じわじわと底が白くなります。墨と「わんぱう」を使う順番を変えたり、刷毛やたわしを使ったりしてみるなど、それぞれ実験するように試しながら取り組みました。その結果、とてもよい表現を発見する子が多くいました。